

【声明】

維新の党・豊田貴志議員による「テロ政党」発言の謝罪を求める

2015年2月20日

日本共産党京都府議会議員団

団長 前窪義由紀

2月19日の府議会本会議一般質問で、維新の党・豊田貴志議員（山科区）が、わが党にたいし「テロ政党とも評される」と発言した。わが党議員団は、その場で「公党にたいする侮辱であり、絶対認められず、謝罪と発言の撤回」を厳しく求めた。

わが党議員団は、本会議終了後に再度、議長と議会運営委員長に申し入れ、断固たる対応を求め、緊急に開かれた議会運営委員会理事懇談会をふまえ、議長から維新の党・豊田貴志議員に対し、謝罪と発言の撤回が通告された。

その結果、翌2月20日の本会議冒頭で同議員に対し、議長から「議会の品位と公党の名誉を傷つけるもの」と指摘し「厳重に注意」する旨の発言がなされ、当該発言箇所を削除することとなった。しかし、同議員は謝罪を拒否している。

国会で自民党議員による、わが党への「テロ政党」とのヤジが大問題となり、その後、同党およびヤジを飛ばした議員本人がわが党に対し、発言を撤回し謝罪した。にもかかわらず、同議員は、その発言を「引用しただけ」と開き直り、議会およびわが党への謝罪の意思を示さず、まったく反省していないことは、断じて許すことはできない。このことは、議員としての資質が問われるものである。

同議員は、これまでも同様の暴言を繰り返してきたが、今回、議会の総意として議長から厳重注意と発言削除された意味を重く受け止め、自ら進んで発言の撤回をするとともに、議会およびわが党議員団に対して謝罪すべきである。

さらに、今回の発言とその無反省ぶりは、維新の党の責任も問われるものである。わが党議員団は、維新の党京都府総支部に対しても、発言の撤回と謝罪を強く求めるものである。

以上